

図書だより ライブラリーニュース
Library News

平成 30 (2018) 年 5 月
府中市立府中第八中学校
図書室担当 粟谷千衣子

今年度最初の定期テストが終わり少しほっとしているところでしょうか。次は体育祭！と闘志を燃やしているところでしょうか。新しい生活にも慣れてきて、それぞれの場所で活躍していることでしょう。その生活の一部に読書する時間、図書室に行く日などを入れて、習慣にしてもらえるとうれしいです。来室お待ちしております。

ゆく春や白き花見ゆ垣のひま

与謝蕪村

色とりどりの花をさかせた春が過ぎ去ろうとする今、
垣の間からなにやら白い花が見える。季節の交替に、夏
の花(卯の花や茨など)が顔をみせている。

『蕪村全句集』藤田真一・清澄典子編 (株)おうふうより

4月の図書室 (開館日数 12 日)

入館者数 535 人 (1 日平均 4 4 人)

	男子	女子	合計
1 年生	87	87	174
2 年生	79	120	199
3 年生	55	107	162

貸し出し冊数 305 冊

学年毎の上位クラス

1-C 106	2-C 18	3-E 57
1-B 33	2-D 17	3-F 46
1-E 21	2-G 10	3-D 21
-F 21		

返却期限を過ぎている本を持っている人は至急返却してください。

図書室の本は八中生みんなの本です。貸出のマナーを守りましょう。

5月のこよみから 5月25日は広辞苑記念日

1955(昭和30)年のこの日、岩波書店から『広辞苑』が刊行されました。この第一版は1935年に博文社から刊行された『辞苑』を引き継ぐかたちで出版されました。『広辞苑』は、その背表紙に新村出^{しんむらいす}編とありますが、その出氏と息子の猛氏の親子二代にわたる執念ともいえる努力から生まれました。『辞苑』は1930(昭和5)年、国語辞典に百科事典の要素を備えた辞書という編集方針に基づき編集作業が開始され、1935年に出版されました。(2286頁 16万語 4円50銭) 編集期間が短いため不備もあって、すぐに1941年に改訂版を出すことが決まりました。1940年に編集作業に加わった猛氏は百科項目のさらなる充実を求め、京大出身の彼は友人たちに専門項目の執筆を依頼します。この中には湯川秀樹博士もいました。こうしたことから予定は遅れ、すべての改訂原稿が出来上がったのは1942年でした。印刷を始めるもののこの時代は活版印刷であり、一字一字活字を組んで印刷し、それから校正作業をし、その校正も5回くらい行われたので、改訂版の刊行はどんどん遅れていきました。その上1942年に始まった太平洋戦争の戦況は、悪化の一途をたどり、そして、1945年4月13日の東京山の手地区大空襲により編集室があった神楽坂一帯は炎に包まれ、保管してあった改訂原稿は灰となってしまい、さらに印刷所も焼夷弾の直撃を受け、『辞苑』の改訂版の印刷は不可能となってしまいました。戦争が終結し、出版社を岩波書店に変え、幸い京都の出氏のところに保管されていた『辞苑』の校正刷りの原稿を基に『広辞苑』を出版することになりました。しかし1946年に当用漢字が定められたり、現代仮名遣いが採用されたり、外来語が増えたりといった言葉の変化に対応し、皇紀を西暦に改める作業をするなど、新しい時代に合わせた辞書にするためのさらなる編集作業が行われ、ようやく1955年5月25日に刊行されました。(2298頁 20万語 2千円)そして今年1月、10年ぶりの改訂が行われ『広辞苑第七版』が刊行されました。先日今回刊行された七版が図書室に入りました。ぜひ活用してください。それから『舟を編む』(出版社の辞書編集部が舞台の物語)の作者、三浦しんさんによる『広辞苑をつくるひと』という本を特典でいただきました。こちらぜひ読んでください。

皇紀 法律により明治以降終戦までの間は、紀元を日本書記に記されている神武天皇即位の年〔紀元前660年〕と定めていた
参考文献 『プロジェクトX ⑩ 夢遥か、決戦への秘策』 NHK出版、『広辞苑はなぜ生まれたか』 新村恭著 世界思想社

5月生まれの作家たち

1日 北 杜夫(1927)	6日 井上 靖(1907)	12日 草野 心平(1903)	22日 エルジュ(1907)
3日 赤羽 末吉(1910)	8日 宗田 理(1928)	13日 伊勢 英子(1949)	23日 サトウ ハチロー(1903)
5日 小林 一茶(1763)	さくら ももこ(1965)	14日 斉藤 茂吉(1882)	24日 横溝 正史(1902)
中島 敦(1909)	9日 ジェームズ・パリ(1860)	20日 相田 みつを(1924)	29日 野口 雨情(1882)
レオ・レオニ(1910)	12日 武者小路 実篤(1885)	22日 コナン・ドイル(1859)	

自意識追求の独自の文学 中島 敦 (1909~1942)

中島敦は1909年5月5日東京四谷の漢学者の家に生まれた。このため中国の古典の素養に厚く、一高(現在の東大教養部)に入学した頃から文学に向かいはじめ、校友会雑誌に習作を発表する。東京帝国大学卒業後は教師となり、横浜高等女学校で国語と英語を教える。一方で持病の喘息^{ぜんそく}に苦しんだ。41年喘息を治すためパラオの南洋庁に赴任。出発前、友人の深田久弥(作家・登山家)に『山月記』など数編を託した。翌年深田の尽力により、雑誌『文学界』に『山月記』と『文字禍』^{もじわざ}が発表され、文壇への道が開きかけた矢先病状が悪化し、33歳の若さで没する。多くの作品が死後刊行され高い評価を得ている。

図書委員会の先生のおすすめの

松本佳子先生 『風が強く吹いている』 三浦しをん 著 新潮社 913/

体育祭が近づいてきています。皆さんのさっそうと走る姿が素敵です。
「走る」と言えば、この小説が頭に浮かびます。「走(かける)」という天才走者、足に故障を抱える名選手らが、箱根駅伝を目指します。

高田重也先生 『^{なつくさるゆなみ}夏草冬濤』 井上靖 著 新潮社

八中名作シリーズ
の『しろばんば』
の続編です

夏が近づくと、この小説を思い出します。私は高校時代に読みましたが中学生でも読めます。一読を!!

今井紀子先生 『シェイクスピアを盗め!』 ゲアリー・ブラックウッド 著 933/ブ

字は小さく
読み応えが
あります。

主人公の孤児ウィッチは、もられた先で「速記術」を身につけ、次の新しい主人から、当時人気の劇作家シェイクスピアの新作「ハムレット」のセリフを速記して盗んでこいと命令されます。失敗してとっさに役者志望と偽って一座にまわり込み、役者修行をするハメに。ピンチを機転と勇気で切り抜けていく冒険物語です。シェイクスピアが生きていた17世紀初頭。どきどきがツラクヨカ!?

永田梨香先生 『アイスプラネット』 椎名誠 著 講談社 913/シ

2年国語の教科書に載っていた「アイスプラネット」の続編です。日本の暮らしに慣れた私達の常識は、実は非常識なのかも...?と思わせる広い視野で世界を考えるきっかけを作ってくれる本です。
教科書のお話以上にオモシロイのだ〜。

図書室に 17
巻までありま

「漫画」や「アニメ」が好きな、中学生のみなさん。
本当の科学で、
その夢を壊します!

『塩狩峠』も
あります!

舞台の地に行ってみよう二冊
くちびるに歌を、中田永一著
舞台は長崎県五島列島。
中学の合唱部が課題曲である
「手紙～拝啓十五の君へ」を理解
するために書いた十五年後の自分
にあてた手紙。この手紙を通して描かれる
一人一人のおもい。読んだ後、五島列島
に行きたくなる、さわやかな一冊。映画も◎!!

『塩狩峠』三浦綾子著
舞台は北海道旭川。
実際に起こった鉄道事故
を元に描かれた物語。
大勢の命を救った青年の生涯
を描いた。生きるとは、愛とは
何かを考える一冊。
ひとつかないこの胸が何度もぼろぼろ
に割れて苦い中で今を生きている

全国学力調査、理科の問題に『ロウソクの科学』のファラデー登場!

4月17日に3年生が受けた全国学力調査の理科のなかで、『ロウソクの科学』（マイケル・ファラデー著）を読んだ科学部の女子生徒・雪子さんが、炎の色と金網に付くススの量に疑問をもち、ロウソクの燃焼をガスバーナーの燃焼に見立てた実験を行い科学的に探究するという場面が設定されて、問題が出されていました。

ファラデーや『ロウソクの科学』は2年生の国語の「科学はあなたの中にある」という単元に出てきたので覚えていた人もいたかもしれませんが。国語の教科書の広がる読書欄でも『ロウソクの科学』（角川文庫）が紹介されています。図書室にある『ロウソクの科学』は岩波文庫で表紙は厳めしいですが、2010年発行で角川文庫とは訳者が違って、新訳となっています。また、ファラデーの生涯も書かれています。ぜひ、手に取って、読んでください。